

# デルフィニウム新品種‘さくらひめ’の育成

岡本充智 廣瀬由紀夫 中村嘉宏\*

## Breeding of a new delphinium cultivar ‘Sakurahime’

OKAMOTO Mitsutoshi, HIROSE Yukio and NAKAMURA Yoshihiro

### 要 旨

愛媛県農林水産研究所ではシネンシス系デルフィニウムの新品種を育成し、‘さくらひめ’と命名して品種登録を出願した。‘さくらひめ’は花色がピンク色（RHS 69A）であり、同色の既存品種と比較して、草丈が高く、花序も長いことから、切り花長の長い花が収穫できる。

キーワード：デルフィニウム，花色，一代雑種，新品種

## 1. 緒言

愛媛県のデルフィニウム生産額は2011年で約7,700万円であるが、切り花としてはバラ、ユリ、キクに次ぐ主要な花となっており、県の花き振興指針では、県下全域で生産拡大・振興を図る重点品目としている。

更にデルフィニウムは、えひめ愛フード推進機構により、花き類では唯一、「愛あるブランド産品」として認定され、販売促進が図られている品目でもある。

デルフィニウムの分類は、一般にエラータム系、シネンシス系、ペラドンナ系、原種系などに大別されることが多い。本県におけるデルフィニウム生産の特徴は、大部分がエラータム系品種で占められていることである。エラータム系品種は大型で豪華なことが特徴で、その多くは冠婚葬祭やホテル、商店の活け込みなどの業務需要に利用されている。しかしながら、近年の景気低迷で消費が伸び悩んでいることから、より市場シェアが大きく、カジュアルフラワーとしてホームユース需要も多いシネンシス系品種を導入する必要性が高まってきた。ところが、本県のデルフィニウム産地ではシネンシス系品種の生産実績がほとんどなく、生産のノウハウも持たないことから、既存の産地との差別化の切り札として新品種の育成が望まれていた。

そこで、愛媛県農林水産研究所ではシネンシス系デルフィニウムのオリジナル品種の開発に取り組むこととなり、2013年に花色がピンク色の新品種を育成したので、育成経過と特性を報告する。

## 2. 材料および方法

### 2.1 育種目標の設定

デルフィニウムの花色は青色や水色のイメージが強いことから、青色系のデルフィニウム品種は、既に数多く育成されている。市場流通においても青色系のデルフィニウムが主力となっている。ところが、本県におけるデルフィニウムの主な作型が9月下旬に定植する促成栽培のため、出荷期が12月や3月の冬～春となることから、時候的に青色や水色などの寒色よりも赤色や黄色、ピンク色などの暖色が好まれることが想定される。そこで、新たなシネンシス系品種に必要な独自性を検討した結果、「暖色系の花色を持つシネンシス系品種」を育種目標として、育成を開始した。

### 2.2 育成の経緯

品種育成は2002年度から開始し、*Delphinium* 属原種選抜系統とハイランドブルーから得たシネンシス系選抜系統に、ピンク系の選抜系統を組み合わせる母親系統の21018を得た。

また、ハイランドブルー選抜系統とピンク系選抜系統の組み合わせから父親系統の21015を得た。

両系統の組み合わせ検定の結果、2011年に特性が安定していることを確認して育成を完了した。2013年3月21日に‘さくらひめ’と命名して品種登録出願（品種登録出願番号：第28012号）を行った（図1）。

## 3. 結果

### 3.1 ‘さくらひめ’の特徴

‘さくらひめ’の花は淡いピンク色の一重咲きで、切

\* 現 農林水産部畜産課

デルフィニウム新品種‘さくらひめ’の育成

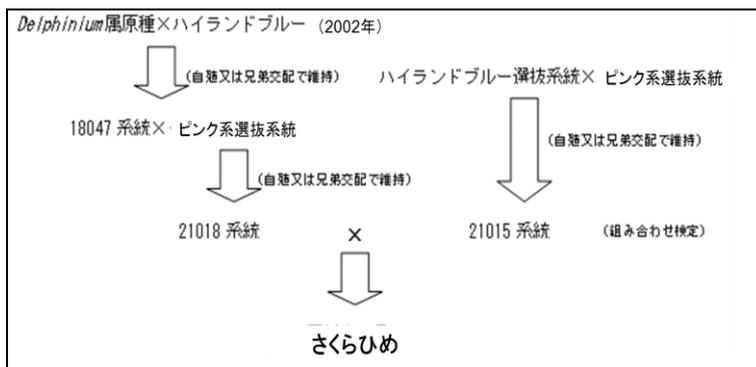


図1 ‘さくらひめ’の育成経過



図2 ‘さくらひめ’小花【巻末カラー写真参照】

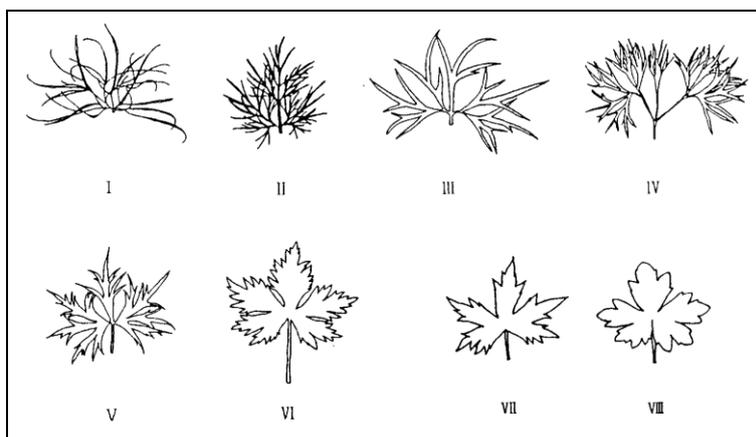


図3 種苗特性分類調査基準における葉の全形

り花向きの中輪花である(図2)。農林水産省の「デルフィニウム種苗特性分類調査基準」の評価区分による分類では以下のように分類される(表1)。

草姿に関して、草型は開帳型、草丈は中、茎の長さは短、太さおよび分枝性は中、毛の有無は無、色は穂黄緑(RHS カラーチャート146B)である。

葉に関して、枚数は少、全形はⅢ(図3)、長さ、幅

および厚さは中、葉縁の毛の有無は無、表面の色は暗緑(RHS カラーチャート137A)である。

花に関して、花序の長さは中、幅および1花序に着生している小花数は少、小花の密度は粗、花の咲き方は普通咲き、形は一重咲き、花冠の大きさは中、花柄の長さは長、がく片の数は少、最外層がく片の全形は楕円形、長さおよび幅は長、がく片の表面の色は全体

表1 ‘さくらひめ’の主要数値データ

形 質	さくらひめ	対照品種の特性値	
		対照品種A	対照品種B
草型	開張型	開張型	開張型
草丈	96.3 cm	57.9 cm	70.0 cm
茎の長さ	3.4 cm	2.6 cm	2.9 cm
茎の太さ	0.49 cm	0.40 cm	0.43 cm
茎の分枝性	6.0	4.8	5.0
茎の毛の有無	無	無	無
茎の色	RHS※ 146B	RHS 146B	RHS 146B
葉の枚数	7.3	6.0	6.4
葉の全形	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ
葉の長さ	11.6 cm	12.2 cm	13.0 cm
葉の幅	17.3 cm	17.0 cm	18.6 cm
葉の厚さ	0.40 mm	0.33 mm	0.38 mm
葉柄の有無と長さ	1.40 cm	0.85 cm	0.90 cm
葉縁の毛の有無	無	無	無
葉の表面の色	RHS 137A	RHS 137A	RHS 137A
花序の長さ	35.4 cm	12.7 cm	17.5 cm
花序の幅	12.7 cm	11.4 cm	12.7 cm
1花序に着生している小花数	11.2	6.6	6.3
1花序に着生している小花の密度	粗	粗	粗
花の咲き方	普通咲	普通咲	普通咲
花形	一重咲	一重咲	一重咲
花冠の大きさ	4.5 cm	4.2 cm	4.5 cm
花柄の長さ	8.7 cm	6.0 cm	6.1 cm
がく片の数	5	5	5
がく片の毛の有無	無	無	無
最外層がく片の全形	楕円形	楕円形	楕円形
最外層がく片の長さ	2.4 cm	2.3 cm	2.5 cm
最外層がく片の幅	1.3 cm	1.3 cm	1.3 cm
最外層がく片 表面の着色パターン	I	I	I
最外層がく片 表面のAゾーンの色	RHS 69A	RHS 69A	RHS 69A
がく片の距の有無と長さ	無	無	無
花弁部の大きさ	無又は小	無又は小	無又は小
葯の色	RHS 200A	RHS 200A	RHS 200A
花の香り	有(微香)	無	無
繁殖法	種子系	種子系	種子系
開花期	早	早	早

RHS カラーチャートは第4版を使用した。供試個体数は各品種10個体

が淡ピンク（RHS カラーチャート 69A），がく片の距の有無は無，花弁部の大きさは無又は小，葯の色は暗灰褐（RHS カラーチャート 200A），花の香りは有である。

その他，繁殖法は種子系，開花期は早である。

既存品種と比較して，草丈が高く，花序が長く，花の香りを有すること等で区別性が認められる（図4）。

‘さくらひめ’は栽培農家における現地試験で，草丈が高く，切り花長も長いことや，花序の長さが長く花数が多いことから花にボリューム感があること，ピンク色の発色が濃く良好であるとの高い評価を得た。更に，花の小売店や市場関係者等によるアレンジ等への適性や商品価値については，ボリューム感があり，既存品種と差別化できること，アレンジの添え花として花色が使いやすいこと，花持ちが良いこと等の評価を得ている。

### 3.2 ‘さくらひめ’名称決定と普及の展開方向

新品種の名称については，県のホームページや関係機関における現物展示等で一般に周知・募集を行った結果，本県のほか，北海道から佐賀県までの6県から応募があった。この中から，淡いピンク色の5弁の花

が桜を連想させること，お姫様のように可憐な雰囲気と愛媛の「ひめ」から‘さくらひめ’と命名した。‘さくらひめ’は最も充実した花が収穫できる3月には，名前の由来のとおり満開の桜にも劣らない，まさに「春を呼ぶ花」にふさわしい切り花を収穫することができる品種である（図5）。

‘さくらひめ’は，愛媛県のオリジナル品種であることから，早急に県内産地への導入を進め，国内各市場に出荷していくこととなる。この場合，愛媛県の主な作型が冬春期の促成栽培であり，夏秋期の作型に適した産地がほとんどないことから，現状では周年供給を行うことが難しい。近年の切り花流通実態から考えると，年間を通じて供給される品目が価格の安定と需要の確保に有利であることから，今後は，新たな作型の開発・普及とあわせて，気象条件や作型の異なる他県産地との連携も含め，周年供給体制の構築に向けた検討が必要である。

#### 参考文献

岡本充智（2014）：春を呼ぶ花「さくらひめ」, JATAFF ジャーナル, 2 (2), 14-15.



図4

‘さくらひめ’（左）と  
既存の市販品種（右）の比較  
【巻末カラー写真参照】



図5 ‘さくらひめ’の開花状況

【巻末カラー写真参照】

#### Abstract

A new delphinium cultivars ‘Sakurahime’ was bred. ‘Sakurahime’ is a F1 hybrid between an original breeding line ‘21018’ and ‘21015’. The character of ‘Sakurahime’ is as follows.

- 1) Sepal color is pale pink (RHS 69A) .
- 2) Plant height is taller and inflorescence is longer than check cultivars.